

Unknown Love

New Edition

紫峯蓮舞

・・・ついに願望達成。5年もの歳月を経て濃い恋愛のエッセンスが装いも新たに完全復活。
以前のモチーフはそのままに、完全リアレンジで収録。

紫峯蓮舞

Unknown Love - New Edition - 目次

1. いつか 逢えたら
2. あなたが いれば
3. あなたのいない 現在（いま）なんて
4. ひとり 恋人
5. だから お願い
6. 君は 君だから
7. 僕に 出来るなら
8. これからも 僕は
9. だから 寂しさを
10. もし 寂しくなったなら
11. また 明日
12. Fall in love
13. やっぱり 君しか
14. 君は どう思う
15. 距離（みち） だけが
16. 全て 僕の心に
17. 君の瞳に ～In your eyes～
18. オルゴール ～The loneliness～

1. いつか 逢えたら

いつか 逢えたら

初めて見た 君の笑顔 可愛らしかった あれからもう 一年
変わらぬ 輝きを ずっと 見守り続けているよ
でも いつか逢えたら そう信じていたい だけど・・・

君は 遠い世界の住人 近くて遠い そんなところにいる
僕のこの想いが 何とか君に 届いてほしい
初めて 心を熱くした気持ちだから 君に伝えたいから

君がもし いなくなったら 消えてしまったら なんて
そんな事 少しでも心をよぎるだけで 胸が苦しくなってくる
いつも君だけを 想う僕が 戦い続ける 永遠の痛み

いつか君の所へ行けたら 癒されると信じて

2. あなたが いれば

あなたが いれば

あなたが いるだけで構わない 僕の心は 優しく金縛り
真剣な瞳 愛らしい瞳 どの瞳も 澄み切っているよ いつも
僕が見つめるだけで 汚れてしまうほど 弱く揺れている

どれほど あなたを追いかけても 僕の指は触れる事はできない
胸の奥の あなたの心 僕が一番知りたいもの 暗闇を照らす光
手探りで 彷徨っても 何もつかめないまま うなだれて

あなたへの想いが 消えてしまう時もある だから そんな時は
夢での出会いを願うのさ 叶わなくても 明日があると
想い続ければ あなたに 打ち明けられるかも 知れなくて

そう あなたがいれば 何も悲しくない
あなたの笑顔が あるだけで・・・

3. あなたのいない 現在（いま）なんて

あなたのいない 現在なんて

写真に触れた あの時の切なさは 言葉に出来ないよ
あなたの微笑みは 誰よりも 何よりも優しく 僕の心を開かせる
この幸せな気持ちは 何なんだろう 笑顔が呼ぶ 天使

この空の下に 僕達は生まれ 遠くに引き裂かれた 灰色の天の川
流れ星を見つめれば あなたののもとへ 飛んで行けそうさ
もしあなたが この街を訪れた時は やっと願いが叶ったと

いつもそう思い 夢に君を託す夜 夢の君は 僕自身
微笑むだけの 僕の希望 手を握れば 冷たくて
動く事もない 人形 悲しい幻 こうするしかないから きっと

あなたがいるから 今を生きてゆける
あなたが いるから

4. ひとり 恋人

ひとり 恋人

僕達だけの 卒業写真 まだ色褪せていない 微笑む君と腕を組み
目を閉じれば 浮かぶのは 初めてのデート 君の涙
夢のように 嬉しく 夢のように 悲しく 君は もう消えていた

夢を尋ねた君は 遠くを見つめ 涙を流したね 拭えない涙を
僕はずっと願っていた 君の幸せ ずっと 見守っていたけど
あまりに遠すぎて 少しも届かなかった 許してくれ

悲しげに 健気に 微笑む姿は 僕にしか見えない でも
いくら抱き締めても 君を感じない 冷たい風が吹き抜けるだけ
そばにいてほしいと 叫んだ言葉を かき消して

涙の痕を 追いかけて 僕はそっと 呟いてみる
“もう 君は独りじゃない”と・・・

5. だから お願い

だから お願い

いつか 二人一緒に話したい 心の鍵を開けて 何もかも
たとえ 叶わぬ夢としても 僕は 砕けそうな心を抱いて待つよ
だからお願い 何か 感じてよ 心の片隅で

いつも 君の明日の幸せを 願っているよ 夜空の瞬く星達に
君にもし 何かがあれば 僕は もうダメだよ 彷徨うだけさ
君の幻を探して どこかに 温もりを求めて

いくら逢えると願っても すぐに心は 悲しみに震え始める
せめて夢で 逢えるようにと 自分で自分を 慰めるしかない
聞こえない君は きっと今も 笑っているよ 何も知らずに

だけどお願い 何か 感じてよ これが最後のshooting star

6. 君は 君だから

君は 君だから

時々 君の写真が 違って見える時がある 僕に何かを訴える瞳
その微笑みの中に 僕の弱さを探る意思が見えるようで 戸惑う
でも すぐまた 優しい顔に戻る だから 安心だよ

君との恋を願いながら 時には 青空を見上げ 微笑む
起こりそうにもない話 思えば思うほど寂しくて ぐらつく気持ち
でも 目を閉じれば 君の微笑みが 元気づけてくれる

もし君が 悲しい時は いつでも僕に 言っておくれよ
こんなセリフは 似合わないけど なるべくなら 涙零れぬように
いつも 君を 見守っていよう たとえ 遠くからでも

君が 君でいられるように

7. 僕に 出来るなら

僕に 出来るなら

君を忘れられるはずはない 何が起こったとしても 光が 消えても
君さえいてくれるなら 僕は耐えられる 微笑みが 生命の水
すべて 打ち明けて 君の心に 身を任せたいのさ

夢でなら いつでも君に逢えるよ だけど 本当の気持ちは言えない
ただの夢だから 悔しいから 嬉しいのに 笑顔の君を突き放す
こんなに幸せな事 今までなかったのに 逃げ出したくて

さよならなんて言葉は 忘れたよ 二度と 言いたくないから
君に 別の恋人がいても 構わないさ 二人の幸せ 祈ろう
君は 僕の永遠の 大切な人だから いつまでも

君を信じて すべてを祈りたいから
僕に 出来るなら・・・

8. これからも 僕は

これからも 僕は

君に逢えない事が こんなに寂しく つらかったなんて
写真の中の君は 誰にも微笑んではいない 作られただけ
傷つく心で いくら願っても 君に届かぬ 静かな叫び

昼の夢は 叶わなくても 夜の夢は 叶うはず だけど
目蓋を上げれば 寂しさが 溢れてくるよ 涙が その結晶さ
本当に出会えたなら 僕は 何も望みはしない 誓おう

君を信じるたび 全てが 嘘に思えてくる 自分の心さえ
笑顔を見る事も 嫌になりそうだよ その瞳が冷たすぎて
その奥の悲しみは 僕には どうする事も出来ないから

いつの日か 素直な心で出会えるまで これからも僕は信じたい
君に逢うつらさを 分かる事が出来る その日まで・・・

9. だから 寂しさを

だから 寂しさを

君の笑顔は 僕を苦しめる それ程に愛しく 逢いたくなる時は
このまま心に 羽が生えて 飛んで行けるのなら でも
そんな事 出来るわけないから 寂しさを 笑顔にして

ささやかな願いだけでも 届いてほしい それだけで構わない
こんな弱い僕には 全てが無理に思えてくるけど 君の笑顔を
君への想いを 支えに出来ればいいよ その優しさを

君が 悲しみに暮れる時 何を 誰に叫んでいるの
打ち明けてほしい つらい事を忘れられるのなら それだけでいい
笑顔の奥の悲しみを 君への寂しさに変えて 夜空を見上げる

だから また 寂しさが 笑顔に変わる
すべての 想いが 笑顔に変わる

10. もし 寂しくなったなら

もし 寂しくなったなら

君への想いに縛られて 自分に負けそうな時がある
もう どうしようもないよ 心も 大きな穴を開けて ただ
冷たい風が吹き抜ける 笑ってくれよ 震える僕を

幸せを忘れた心は 何もかも 捨ててしまった 抱きしめる事
手を取りあって 小道を歩く事を 悲しみだけが 僕を包んで
“逢いたい” 思えば思うだけ すべて 変わり果ててゆく

君の笑顔に操られ 迷いそうな時がある 初めて落ちた 迷宮
焦りながら 少しずつ 慣れ始めた僕に 囁きかける 闇の声
“これも 運命なんだ・・・” いつかは 謎が解けると信じて

もし寂しくなったなら 君の笑顔を 思い出すよ

11. また 明日

また 明日

一日が終わるたびに 夜になるたびに 君を想い 切なくなる
今日はどうだった 幸せに暮らせたのなら 良かったよ
じゃあ また明日 幸せな一日でありますように

もし涙を流し 寂しさにひざまずく事が あったなら
すべて 忘れてしまえばいいさ 楽しい思い出があれば それで
僕だって いつもそうしてるよ 逢えない傷は 癒せないけど

君を 大切に思える今に ありがとうと言いたい 君が 幸せなら
僕も幸せになれる 君が 悲しんでいたら 僕も悲しくなるから
いつも笑顔のまま 幸せに そういう気持ち ずっと

明日が 暗くならないように

12. Fall in love

Fall in love

こんな恋は 初めてだった 君は 僕より年上だけど
そんな事は 関係なかった 心が熱くて 溶けそうな 愛しさ
君の瞳が とても綺麗だから 純粹だったから

ただ 君への想いが 先走っていたよ 嬉しさに いっぱいだった
きっと このまま逢えないなんて 分かってもしなかった
何でも 信じられる 思い通りになる そう 思っていたから

君は 僕に出会っても 何も感じないだろうけど もし 君に
今まで温めていた 僕の気持ち 伝えても どうか微笑んでいて
何も言わなくても 瞳が すべてを打ち明けてくれるから

寂しさも 何もかも すべて 無しにして
誰にも知られない 恋に堕ちて・・・

13. やっぱり 君しか

やっぱり 君しか

その眩しい笑顔 いつの日か 間近で見たいよ 吐息を感じるほど
君に優しくなれたのは その笑顔のせいだといいね たぶん
そんな気がするよ 涙も いつの間にか乾いてた

いつかは君に 伝える事が出来ると 心で 言い聞かせるけど
そう信じられるなら もっと 強くなれる 強くなれるなら
この気持ち もっと 信じられる 笑顔じゃ 僕を支えきれないよ

言葉じゃ 言えない気持ちでも 君に 逢えていたら
目の前にいたなら どうにかして 伝えられたと思う だけど
逢えないから そのまま言えずに 終わってしまうんだね でも

いつも 君だけを 僕の心の中に・・・
やっぱり 君しか いないから

14. 君は どう思う

君は どう思う

僕が 恋をするなんて 皆はいつも笑い話にするよ きっと今度も
“どうせ またフラれる” 噂話に 僕のまわりは 花盛り
でも今度だけは フラれるはずはないさ 片思いなんだから

手紙だって 何だっていい 君に 真剣な僕の気持ち 伝えられるなら
“君は どう思う こんな僕を” ふざけてなんかいない
今までとは 意味が違うから 真剣だから 熱くなるのさ

横に首を振るなら それでも構わないよ 心の隅にでもいい
そっと 置いていてほしいから 君にもう 大切な人がいても
ずっと 忘れないから そう 君に手を振るよ

僕の心の中には いつも笑顔の 君がいるから

15. 距離（みち） だけが

距離 だけが

どんなものにも 遮られる事なく 君を 感じられるなら
どんなに 嬉しいだろうか 手を伸ばさなくても 頬に 触れられたら
だけど 距離だけが 見えない壁が 立ちふさがるから

写真に映る 微笑みだけを いつも信じて 僕は 優しくなれた
こんな運命は いつか 変えてみせる 遠くの君を 抱き締めるさ
考えたくなかったけど 悔しくて 少しでも 安らぎが欲しくて

君が 愛しいから つらい 悲しいよ だけど 君を知らずにいたら
もっと 悲しかったろうね 純粋な気持ち 感じる事もなく 今も
涙のない 嘘の悲しみ その心を覆うのは きっと

すました君と すれ違った後に

16. 全て 僕の心に

全て 僕の心に

ずっと 君を見守っていたい この不安を 拭い去れるのなら
悲しさ寂しさ すべてから 守ってあげる 笑顔が消えないように
僕の心に しまっけてあげるよ だから 大丈夫さ

泣きたくなるほど つらい事があったのなら 空へ 飛ばしてごらん
そうすれば 涙は輝く星になる 忘れなよ 悲しい記憶は
あかるい明日を 想いながら 今日は もうお休み

恋は 一枚の金貨 いつも表には笑顔 裏には涙顔 空に放り上げて
涙のコインは 使い果たした 僕は ずっと笑顔だけ 裏も表も
君にもあげよう 枕元にそっと

しまっけておいてよ 錆びつかないように
いつも 君の心の中に

17. 君の瞳に ～In your eyes～

君の瞳に ～In your eyes～

恋しさに 火がついたら もう 何をしても消せないよ でも
もう遅かった 僕の体は 動かない 灰色の世界が 押し寄せる
すぐに 君の瞳に 吸い込まれてしまったよ この僕が

夢のようさ 人に恋してしまうなんて すぐにでも伝えたい
この心を冷やしたい そんな気持ちになるなんて 嘘だろ
叫んでも無駄だと知って 涙を流しているなんて この僕が

僕の心を 止めたまま 君は微笑み続ける 憎らしいほど 美しく
僕の涙に 気づいておくれ 僕の心を 受け止めておくれ
砕け散って 消える前に 君に 魔法を解いてほしい

瞳が 黒く 輝く間に・・・

18. オルゴール ～The loneliness～

オルゴール ～The loneliness～

君は いつだって僕と一緒に 寂しさを忘れられるのなら 構わないよ
孤独な君の 負った傷が 癒されるのなら いつまでも
冷たくしても 君は気づかずに 微笑んでいる 涙も見せず

留守電の声も 元気だね “僕だよ 明日 映画でも観に行こう”
君の笑顔を 思い出して 自分の 不甲斐なさに 腹が立って
初めて聞いた メッセージ いつも 君がいたから 少し寂しくて

“この間は・・・” 黙り込んだせいで カードが切れた
明日 言おう 始まる前の 静かなざわめきの中で
君への 本当の気持ちも一緒に きっと

騒がしい 夜の街の中 僕は 家路を急いでいた
降りしきる雨に 髪を濡らしながら